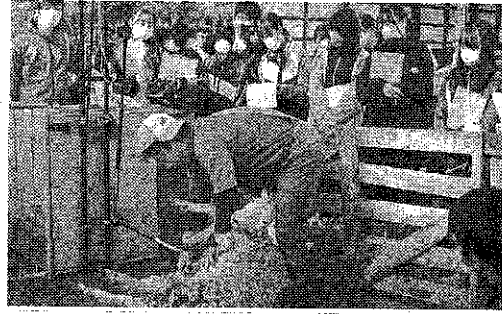


羊毛役割理解深める

白糠高

【白糠】白糠高校の1年生22人は、総合的な探究の時間の一環で和天別の「羊まるごと研究所」（酒井伸吾所長）を訪れ、牧羊について理解を深めた。7日に実施。酒井所長は「羊毛は断熱材の役割も果たすので、冬と夏は毛刈りをしない。毛色は青は白色がありがたがられたが、現在は色つきの方が価値がある」と説明、毛刈りを披露した。

生徒は酒井所長と同研究所実習生の長谷川耕史さんの案内で施設を見学。「命



羊の毛刈りを見学する生徒

を頂く仕事だが、それ以上の力を注いで命を育んでいる」との酒井所長の話に熱心に耳を傾けていた。山崎明莉さんは「色による品種の違いを知ることができ、心に残った。私たちは母羊から命をもらっているのだと実感した」と話していた。

（水谷友路）